

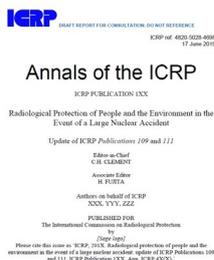
放射線被曝と その周辺

- ・ 場所はすべて市民科学研究室事務所 (文京区湯島 2-14-9 角田ビル 2F)
- ・ 毎回定員 15 名 (Web 会議参加も可) 市民研ホームページから事前予約が必須
- ・ 資料代として 500 円をいただきます (会員・非会員の区別なし)
- ・ 講師は肩書を記している場合を除いて、すべて低線量被曝研究会メンバーです

第 1 回 **9/10(火)**
19:00~21:00

ICRP 勧告にパブコメを書いてみる～原子力事故対応に関する草案を読み解いて

講師：瀬川 嘉之

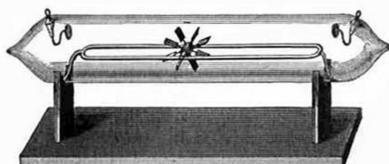


東電福島事故における日本政府の放射線防護に関する政策は、基本的に国際放射線防護委員会 ICRP の勧告に則っています。線量限度の年間 1 ミリシーベルトや避難指示・解除の年間 20 ミリシーベルトは ICRP による基準です。2011 年 3 月、事故が発生した緊急時とそれから 8 年におよぶ被ばくと汚染への対応の実態はどうでしょうか。ICRP は 9 月 20 日を期限として東電福島事故対応を世界標準にするかのような新しい刊行物の草案をパブコメにかけています。世界に私たちの現実を知らせるいい機会です。ICRP も当事者の声を重視するとしています。パブコメはそれぞれの体験をもとに書くのがよいにしても、草案に何がどう書いてあるのかを知っていきましょう。

第 2 回 **10/20(日)**
14:00~16:00

中学校や高校の理科の実験と放射線安全～クルックス管の利用で問われること

講師：秋吉優史 (公立大学法人 大阪府立大学 研究推進機構 放射線研究センター 工学研究科 量子放射線系専攻 准教授)



クルックス管と聞いて皆様は何を思い浮かべるでしょうか？ 学校では以前から使われていましたが学習指導要領の改定により 2021 年度以降、中学校理科での利用が増えると考えられています。クルックス管は電子の性質を学ぶことに役立ちますが、レントゲン博士による X 線の発見も体験することができます。電子が加速されるので、X 線が出ることもあるのです。さて、この装置を安全に使うにはどうすればよいのでしょうか？ 安全を確保するためには測定が必要ですが、パルス状の低エネルギー光子を適切に測るのは学校現場では容易ではありません。この講座では、これまでに得られた質のよいデータをご紹介します、理科実験での放射線安全を考えます。

第 3 回 **11/18(月)**
19:00~21:00

廃棄物とは何者？ 放射性廃棄物も廃棄物の仲間だよな？

講師：系永眞吾



幌延 深地層研究センター 地下 350m
高レベル放射性廃棄物実験坑道

1970 年のいわゆる公害国会で大気汚染防止法などと共に廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) が成立した。以来、毎年のように法改正が行われたが、廃棄物処理法の改正は廃棄物って何？という命題に悩まされてきた。放射性廃棄物は廃棄物処理法の枠組みには組み込まれていない。それでは普通の廃棄物とは何が違うのか？ 私は不法投棄廃棄物と掘り起こし廃棄物の調査対策・有効利用に長年かかわってきたが、その経験から放射性廃棄物について考えてみたい。